

令和7年2月26日招集

第2回小坂町議会（定例会）

発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	2	工藤文明	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 今シーズンの雪対策について</p> <p>2. 小坂町消防団の存続に向けた支援策について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>令和6年度の降雪シーズンが終わりを告げようとしています。</p> <p>この冬、町で発生した雪による被害についてお知らせください。</p> <p>また、雪害が発生した場合における町の連絡体制の現状についてご説明願います。</p> <p>全国的な傾向でもありますが、地域における防災力の要となる消防団員数の減少と規模縮小が続き、有事の際には対応ができないのではないかとという深刻な懸念が広がっています。</p> <p>小坂町消防団も団員数が減少の一途をたどっています。町の人口減少に伴い、やむを得ない状況なのかもしれませんが、消防団活動まで縮小しないよう配意しなければなりません。</p> <p>令和4年度に団員報酬が改定となり、報酬は団員個人に対する支給へと移行していますが、その一方で、各分団の活動費用が十分に足りているのかを伺います。</p> <p>各分団の活動費用が足りていなければ、予算による支援を要望します。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	8	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 小坂町消防団活動強化について</p> <p>2. AED設置について</p> <p>3. 小坂中学校部活動地域移行について</p> <p>4. 行政執行責任者としてこの4年間の総括を</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 平成29年3月12日に施行された道路交通法の一部を改正する法律において、新たに「準中型自動車免許」が創設されたことに伴い、同日以降に普通自動車免許取得した人が運転できる車両は総重量3.5トン未満に限定されました。そのため、新たに普通自動車免許を取得した消防団員は車両総重量3.5トン以上のポンプ車を運転することができず、将来的に消防団活動に支障が生じる恐れがあります。そこで、小坂町として消防団員の準中型自動車免許の取得について助成を行えないかを伺います。</p> <p>1. AED自動体外式除細動器は救命処置に重要なツールとして、公共施設や事務所、商業施設等に多く普及しています。平日日中であれば、その活用もできるのですが、夜間の救命処置となれば対応が限られることから各自治会館に設置できないかを伺います。 (少なくとも、指定緊急避難場所の北・南あけぼの街区公園、鳥越街区公園、東渡ノ羽街区公園、藤倉街区公園では自治会館に設置しなければ緊急時に対応できないことから考慮していただきたい。)</p> <p>1. 小坂町教育委員会では、2023年度から中学校部活動地域移行について方向性を示す構想をまとめ、令和5年度から小坂町部活動地域移行検討委員会を設置、部活動移行の協議をされてきたところですが、令和6年度末における部活動移行における進捗状況を伺います。</p> <p>1. 第6次小坂町総合計画 前期基本計画を踏まえたこの4年間のどの様に総括(自己評価)されているかを伺います。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	4	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 第6次総合計画に関わって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>町は来年度（2025年度）で第6次総合計画の前期計画が終わり、2026年度から後期計画へと移行することにかかわって。</p> <p>1. 総合計画の基本目標を「基本構想に掲げられた将来都市像の実現に向けて、必要な個々の施策・事業の内容を体系的に示す。」とし、今後町民とともにまちづくりを進めるために、基本計画で掲げる施策ごとに『目指す姿』『成果指標』を明示し、成果の適切な管理を行う仕組みを導入するとして、『目指す姿』で基本目標を①「健やかに自分らしく生きるまち」、②「豊かな心と未来を育む人づくりのまち」、③「にぎわい・活気を興すまち」、④「自然とともに、これからも暮らし続けたいまち」、⑤「ともに明日を築くまち」の5本柱と、その柱毎に数本の施策を掲げているが、これまで取り組んで来た基本計画の達成状況、基本目標の進捗状況をどう捉えているか。</p> <p>2. 来年度は前期計画の仕上げの年度となるが、特に重点課題として取り組む課題をどう考えているか。</p> <p>3. 前期計画の進捗状況を踏まえて、後期計画での重点課題をどう考えているか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	7	木村則彦	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 町長の公約の取組状況について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>町長は4年前の選挙公約の重点目標として、基本目標1から5で構成される15項目を掲げておられましたが、その中でも下記の5項目の目標について主な取組状況と評価について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町の将来を担う子どもや若者世代について、多様化する生活様式・ニーズに対応できるよう、個々のスタイルに合わせた支援を充実。 2. 新しい生活様式に対応した働き方への理解、導入を促し、新たな地域経済の活力を取り入れ、力強い産業振興に向け「農・商・工」のバランスのとれた産業の振興。 3. 自然環境を将来に引き継いでいくため、自然環境に配慮した大地利用を進め、環境に配慮した暮らしを意識し、循環型社会の形成に向け、豊かな自然を守り育てる。 4. 地域や関係機関と連携し、移住希望者が希望を持って移住できるように、きめ細やかな支援体制の構築。 5. 町税収入の減少及び地方交付税の縮減などにより、環境が厳しい中で、町民に信頼される行政運営に努め、常にコスト意識を持ち、健全な財政運営により、次代に向けた「まちの体力」ともいえる財政基盤の強化を図る。 		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	6	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 大雪時における除雪について</p> <p>2. 新しい認知症観の普及について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 大雪時における本町の除雪体制はどのように実施されているのか。</p> <p>2. 歩道の除雪が行われているが、確実に実施されているかチェックはしているか。</p> <p>3. 町道と国道が面している所では、町民から度々苦情が来ている。振興局または委託業者との連携は取れているか。</p> <p>1. 認知症の人の活動の場、若年性認知症の人の就労の場などの確保に向けた自治体と企業の連携はどのようになっているか。</p> <p>2. 学校教育において認知症に関する知識や理解を深める取り組みはされているか。</p> <p>3. 地域の支援体制をどのように強化するか。</p> <p>4. 令和6年4月現在、県内8市町が「チームオレンジ」を立ち上げている。認知症施策推進大綱では、令和7年度までに全市町村でチームオレンジ等の整備が掲げられており、本町では未定になっているが、現状についてどのように考えているか。</p>		